

TOY BOX

2005.4
vol.8

Hello!Project Fan Magazine

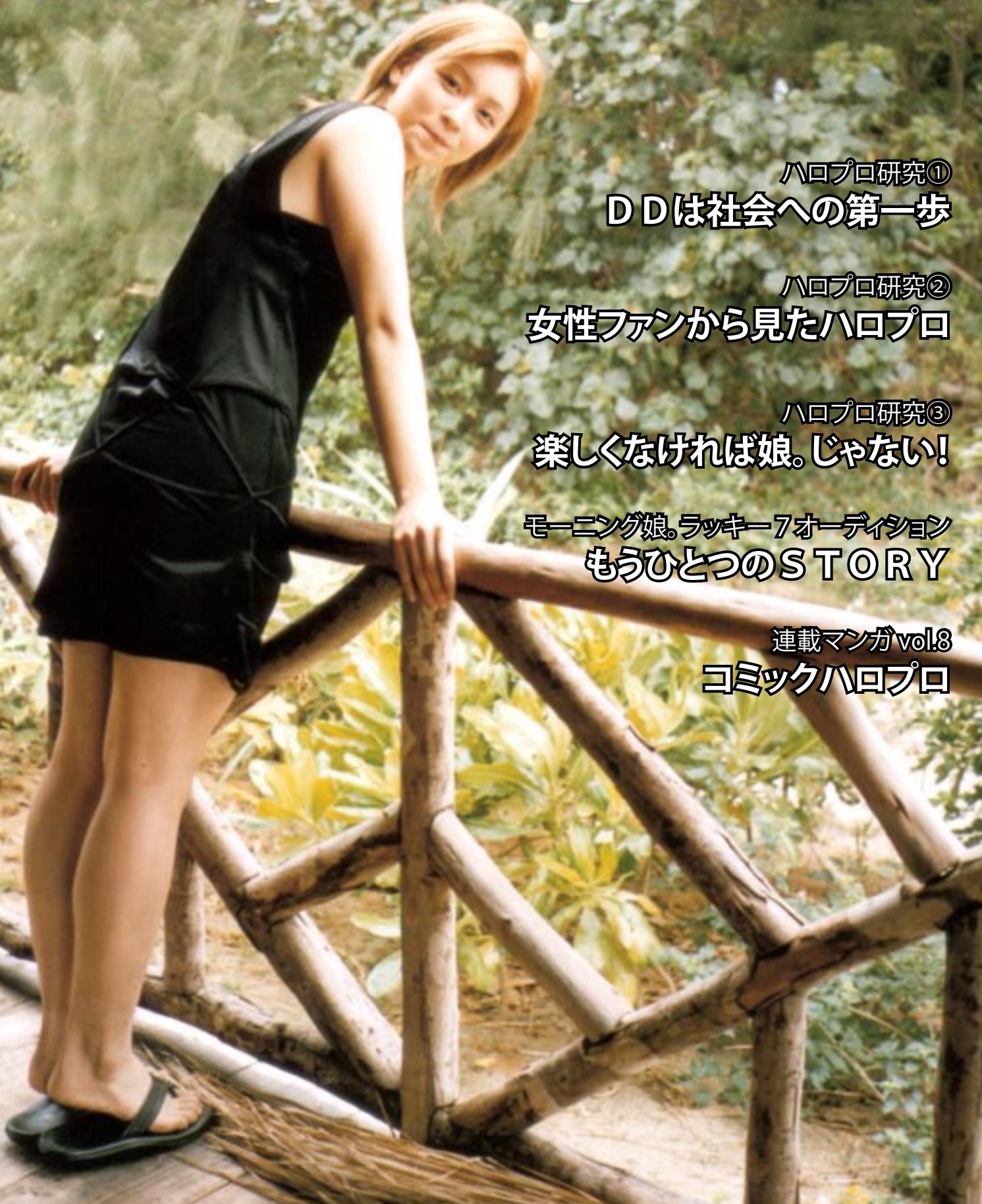
ハロプロ研究①
D Dは社会への第一歩

ハロプロ研究②
女性ファンから見たハロプロ

ハロプロ研究③
楽しくなければ娘。じゃない!

モーニング娘。ラッキー7オーディション
もうひとつのSTORY

連載マンガvol.8
コミックハロプロ



“DDは社会への 第一歩” 文／まゆ

はじめまして。梨華ちゃん・ミキティ・雅推しのまゆです。基本的にDDに部類に分類されます（汗）でも、わたしと同じく、DDを名乗っている、またはDDだといわれる方は多いかと思います。そんなDD方のため、そして「自分は一途だから、DDの気持ちが分からぬ」そんな人のためにDDを語つてしまおうと思います。（文章能力がないため、乱文乱筆で申し訳ないです）

まず、DDとは、そもそも「誰でも大好き」という意味で用いられています。しかし、私自身もそうですが、誰でもいいというわけではありません。「1人には絞れない」「梨華ちゃんも可愛いけど、ミキティも可愛いよなあ、あとあややも。」とかそんな感じではないでしょうか。つまり誰でもいいと いうわけではないのです。もちろん、ハロプロなら誰でも大好きという人も多少はあるでしょうが、やはり、その中にもお気に入りのメンバーというのはいるでしょう。これはあくまでも、わたしの個人的な意見なのですが、「推しメンバー」と「かわいいメンバー」のは別物ではないかと思うんです。もちろん推しのメンバーは可愛いんです。言いつくせぬくらいに。でも、普通に可愛いメンバーついていますよね。わたしで言いますと、なつちがそうですかね。推しではないのですが、常に可愛いと思うメンバーの1人です。もちろん、それも人それぞれ好みが違うでしょうから、いろいろ贊否両論あるかと思いますが。推しというのは、大きさかもしれないですが、「こ

の人に人生を捧げたい!」「キター」みたいなインスピレーションだと思います。わたしは日々、梨華ちゃんにインスピレーションを感じているのですが、もちろんミキティにだって、雅ちゃんにだって、あやにだって感じます。そんなメンバーこそが、自分の推しだとわたしは思います。ですから、DDというのはある意味で、感受性が強いというか、視野が広いのかなどたまに思います。自分でいうのも恥ずかしい話ですが。といいますか、わたしのヲ友達を見て日々思うのです。わたしのヲ友達に究極のDDがいるのですが、やはり、視野（見る範囲）が広いですね。ある本には、視野を広く、いろいろな人間を見ることが社会への第一歩だと、書かれています。私自身はそれを信じたいです。まだ、自分も中3で未熟すぎるので、DDで社会の道が開けたら、なんて思います。

もしかしたらDD、それは素晴らしい社会への第一歩なのかもしれません。きっと、多分・・・

みなさん初めまして！中2でミキティイ推しのゆっこです。女の子の目線でハロプロを語りたいと思います。

女性ハロプロファンの方なら理解していただけるかと思いますが、女性ハロプロファンはとても少ないです（悲）少なくとも私の周りには誰もいません。なのでネットでハロプロファンと交流をしているのです。意見を聞いたり言つたりできるとでも心地の良い場所です♪

女性ファンから見たハロプロ

文/ゆっこ

は「自分が一番可愛い！」と競い合つていますよね。（笑）まあ私はそんな2人をほほえましく見ているんですけど。あとはやっぱり中学生にもなると同性より異性が気になるのではないかと思います。だったら私は一体…まあ、それはいいとして（笑）でも、ハロプロファンじゃない子でもハロプロの中に好きな曲があるっていう子がいるんですよ♪それは「100回のKISS」「ずっと好きでいいですか」です。どうやらせつない系の曲が人気らしくて「THE LAST NIGHT」「赤い日記帳」なんかも好きな子がいます。私もわりとせつない系の曲が好きなんです。こんな感じで女性の好みがわかつてきましたね♪

ところで女の子の中で人気のあるハロプロメンバーは…なっちなんです！（注・私の周りでは、です。）きっと憧れの存在なのだと思います。だつて、とつてもかわいいじゃないですかwww

やっぱり私はハロプロが大好きです。私の憧れとか夢とかがいっぱいいまっているのだと思います。「あんなふうにかわいくなれたらいいな」「あんなに細くて羨ましいな」などなどたくさんあります。私はミキティの何と言つても「歌声」に惚れました☆なんで、あんなに魅力的な歌声なのでしょう…。少し鼻にかかるあの独特の歌声はとてもステキです。でも、なんといつても歌を歌うのが上手です。歌声に感情がこもっています。ミキティの歌声を聴くとリラックスできます。きっとまだま

私は逆の考え方でモーニング娘。に入つたのがみなさんご存知の通り新垣里沙ちゃん。彼女は本当にモーニング娘。が好きで好きでたまらなくて、ただ単に歌手ではなく、「モーニング娘。」に入りたいと思い実現させたとてもスゴイ子だと思います。彼女のように、またソロデビューを狙つて応募した女性のみなさん頑張つて下さい！

結局私は何がいいたいのだろう…。それはきっと今現在女性でハロプロファンの方で周りにファンがいなくて寂しく思つてている方、そうそこのあなた（笑）、ネットでは全国各地の大勢の女性ハロプロファンに出会えるはずです。なので、どうか希望を捨てずにこれからも楽しくハロプロファンを続けていつて欲しい、ということです。

だ細かい理由はあると思いますが、とりあえずはこんな感じです。

さて、もう締め切られましたか「モーニング娘。オーディション2005」には応募しましたか？私はしていません。歌手になりたいわけではないので…。それに、憧れの存在に自分がなれるとは思わないからです。

楽しくなければ 娘じゃない！

文 / flight



ライブドアによるニッポン放送株大量取得に端を発したメディア争奪戦。防御体制の整ったフジテレビの反撃にホリエモンは・・・という話は別の媒体に譲るとして、やっぱり今回もモーニング娘。のお話です（笑）

一月上旬からテレビや新聞で連日報道されているのが、ニッポン放送をめぐるライブドアとフジテレビの対決の話題。この騒動を傍観していると、様々な要素が凝縮されていて、いろいろ考えさせられおもしろい。この騒動をヒントに今号と次号の二回にわたりモーニング娘。を分析していきたいと思う。第一回目の今回のテーマは、「楽しくなければ娘。じゃない」

「きっかけは～、フジテレビ！」

関東に在住でない方は見たことがないと思いますが、関東に住む方には馴染み深いこのフレーズ。これは現在のフジテレビのCM（キャッチフレーズ？）です。意味はよくわかりません。（笑）意味はわかりませんが、今回のこの記事を執筆しようと重い腰をあげたのは、まさにこのCMどおり「きっかけはフジテレビ」でした。

フジテレビというと、真っ先に思い浮かぶのが、今世間を騒がせているライブドアとの戦い（？）。ソフトバンクまで絡んできて、なんだか泥仕合の様相を呈しています。この一連の騒動のフジテレビのとつた行動に、少し寂しい思いがしました。詳しい事情はわからないですが、フジテレビの上層部はこのネタを使用したバラエティ番組を作るな！と、社員に通達したらしい。

今から20年以上前、視聴率獲得に苦労していたフジテレビは、「**楽しくなければテレビじゃない**」をキャッチフレーズに数々のバラエティ番組をヒットさせ、90年代前半まで12年連続で視聴率三冠王に輝く

という黄金期がありました。どんなネタでも、おもしろければ取り上げ、お茶の間に笑いを提供してきたかつてのバラエティ界の巨人らしからぬ今回の方針。ライブドアの堀江社長がオープンで、おもしろいキャラなだけにもつたいないことをした。めちゃイケや、ワンナイ、はねのトびらなどの番組でホリエモンをいじるとか、ライブドア本社に突撃取材するとか、やり方はいろいろはず。堀江さんが出演し収録が済んでいた平成教育2005 予備校もお蔵入り。昔のフジテレビなら、きっと笑いにしていたと思いますが、笑いにできないぐらい、切羽詰まっていたようです。

さて、ここからがようやく本題。いきなり質問！**モーニング娘。の魅力とは何でしょう？また、ファンである僕らはモーニング娘。に何を求めているのだろう？**

歌？ダンス？赤点なんて評価された子が頑張っている姿？元気いっぱいなどころ？モーニング娘。に、平井堅や宇多田ヒカルのように、歌を聴きたいと歌を求めたり、EXILEのようなダンスを求めているファンはどうぞぐらいいるのだろう？

ぶつちやけて言うと、平井堅や宇多田ヒカルのような歌唱力やEXILEのようなダンスパフォーマンスの力はない。でも彼らに持っていないものがモーニング娘。はある。それは**「楽しさ」**。

平井堅の歌は、じっくり聴きたくなる。対して、モーニング娘。の歌は聴いていると楽しくなって、一緒に唄いたくなる。E

XILEのダンスを見ていると、「かつこいいー！すげー！」と感じる。それに対し娘。のダンスを見ていると、楽しくなって、見よう見ま似で一緒に踊りたくなる。見ている人、聴いている人を元気に、楽しい気分にさせてしまうエンターテイメントな部分こそがモーニング娘。の最大の魅力なのだ。唄つて、踊つているときの彼女たちの楽しそうな表情、可愛らしい仕草がスペイストとなり、より一層「楽しさ」を引き立たせるのは言うまでもない。

ブレイクのきっかけとなつたLOVEマシーンでは、不況であつた時期にもかかわらず、「日本の未来は世界がうらやむ」や、意味不明な歌詞にノリだけで「うおううおう」と唄つてみせた。またオープニングの陣形の奇妙なポーズや、手をL字にして突き上げる誰でも簡単に踊れる振り付けは、見ているものに楽しさを伝えることに成功した。

モーニング娘。はエンターテイメント。**楽しくなければ娘。じゃない**んです。では今のモーニング娘。は楽しさを伝えることができているのか?と考えていたとき、おもしろい話を耳にした。

今行なわれているモーニング娘。の春ツアーにおいて、曲中でさゆみんが美貴ちゃんにキスをするという事件があつたらしい。しかも唇に。唇を奪われた美貴ちゃんは、一瞬何が起こつたかわからないといつた感じで顔を赤らめたそうな。これは、娘。時代に辻ちゃんが得意とした技。観客を楽

しませるには、まずは自分たちがステージを楽しむ必要がある。加入して一年がたち、ようやく楽しみながらステージに立つ余裕ができた証。娘。のエンターテイメント性はしっかりと受け継がれているようです。**楽しくなければ娘。じゃない**。これからも、引き続きモーニング娘。は笑つて、唄つて、踊つて、僕らに元気と楽しさをくれるのでしよう。ただのアイドル、歌手、タレントで終わることなく、エンタテイナーであり続けて欲しいと願っています。



コンサート中にミキティにキスをしたさゆみん。いっぱいいっぱいの状態から脱し、楽しみながらステージに立てているのでしょうか

次号は、ライブドア側に焦点をあて、IT社会と呼ばれる現代において、既存メディアとインターネットとの融合を主張する堀江さんの考え方をヒントに、ITとモーニング娘。を考えたいと思う。題して、「インターネットがモーニング娘。にもたらしたもの」(仮名)です。乞うご期待。



私が見たラッキー7オーディション もう1つのSTORY

文／えり

11月21日ついにこの日がやつてきた。モーニング娘。のオーディションである。この日の為に情報を散々集め洋服を買い書類を作りいざ本番。東京ビッグサイトにはこれが2回目。しかし小さい頃の為ほとんど変わってしまい全くわからず。母と二人で警備員さんに聞きようやくビッグサイトに着く。どうやら会場は何個もあるらしく秋葉系のおじさんや着ぐるみを着た人、コスプレをしてる人々未知の空間であつた。そして階段を上つた所にモーニング娘。ラッキー7オーディションの会場があり係員さんが大きな声で言つていたのですぐわかつた。途中階段を上る時に「モー娘。だ」とヒソヒソ言われたのが何だか面白かった（まだ合格していないんだけど・・・）。

会場に着くと1時間前にもかかわらず約百七十人の女の子がきていた。すでに並ばされていて友達連れで来ている子が多かつたのが印象的だつた。保護者は並べないため一人で並んでいた。4人ずつの列になつていたのとまだ時間が合つた為、隣の女の子に話をした。どうやらその子は神奈川からきたらしく19歳の子だった。とても可愛く19歳には見えなかつた。そして10時、会場入りである。ゾロゾロと女の子達が会場に入れられていく。会場は広いのだがなぜか半分しか使っていなかつた。そしてテレビカメラやアナウンサー等も入りなんだか前のほうでやつている。しかし後ろの方には最初の並んでる画を撮る時くらいしか来なかつた。チクショウと心の中で思いつつ女の人人が説明を始めていた。オーディションについての説明なのだが正直聞い

てなかつたので何を言つてたのかはわからなかつた。そして審査が始まる。その女の子と一緒に緊張するねと言ひながらぎりぎりまで話す。7ブースくらいあるので比較的順番は早い。これは個人差もあるが大体は第一印象で決められた。質問が1個の人と2個の人がありて、中には質問と言つても年齢を聞かれただけと言う人もいた。そのくらい審査の時点で明と暗がはつきりわかれていた。

審査は案外早く終わりその女の子（これからはMちゃんとする）と合格発表の3時までフジテレビに行こうと言う事になつた。審査が終わりMちゃんと話していた。Mちゃんは審査日がどうやら誕生日だと言う。「絶対不合格だよお」と言うMちゃんに私は「大丈夫だよ！！！」と何度もこのやりとりが交わされた。そしてお台場に着く。すっかりヘトヘトでフジテレビに着くなりハネットビなどのグッズが売られている所などがあるイスの所で「疲れたね」とお互い休む事にした。しかし時間はまだ3時間ある。さてどうするかと思つたらその子が出したのはMDプレイヤー。それは全部ハロプロ系の曲だつた。全部CD持つてるよとニコニコで話していた。彼女は石川梨華ちゃんが大好きでモーニング娘。に入るために一人でカラオケで何時間も練習したと言つていた。死ぬ気でもモーニング娘。に入るとまで思つた私が話を聞きながら「この子が合格するなら落ちてもいいな」そう思つた瞬間だつた。その3時間Mちゃんと私が何をしていたかというとひたすらフジ



テレビで一人で2つのイヤホンを1つずつして音楽を聴いていた。しかも全部ハロプロ。全部CDを持っていかなかつた為こんな風に聞くと曲の印象違うなあとか思いながら時間は過ぎた。

そろそろいかなきやということで3時間音楽を聞くだけのみに来たフジテレビを後にしMちゃんと結果発表が行なわれる東京ビッグサイトに向かつた。その道中、あの子オーディションにいたよねと言う子がいっぱいいた。その日のお台場は女の子で溢れんばかりだつた。さんざんしゃべつていた2人だつたがMちゃんも私も無言になつてしまいひたすらビッグサイトに向かつっていた。そしてビッグサイトについた。

結果発表に来る女の子が列を作つていた。かなりの女の子の数だつた。Mちゃんと私は相変わらず無言でしかし手をしつかり握つていた。緊張で汗ばんでいた事も気にならないくらい張り詰めていた。しかし3時になつても会場があかずどうやら係員がせかせかと忙しそうに人を探しているように伺えた。そして係員さんがアナウンスをし、いよいよ入場。どうやら全員会場に入れ番号を後ろと前に張り出すという随分原始的な方法だつた。Mちゃんと私は手を繋いだままお互いに一大言「大丈夫」と言葉を交わしただけで、あとは無言のままだつた。私はその時心の中でMちゃんが合格しますようにと祈つていた…。そしていよいよ結果発表。

係員がいっせいに紙をはがし女の子達の「あつた！」と言う声が響いた。そして目を

開け私の番号よりも先にMちゃんの番号を探した…。

「なかつた…」

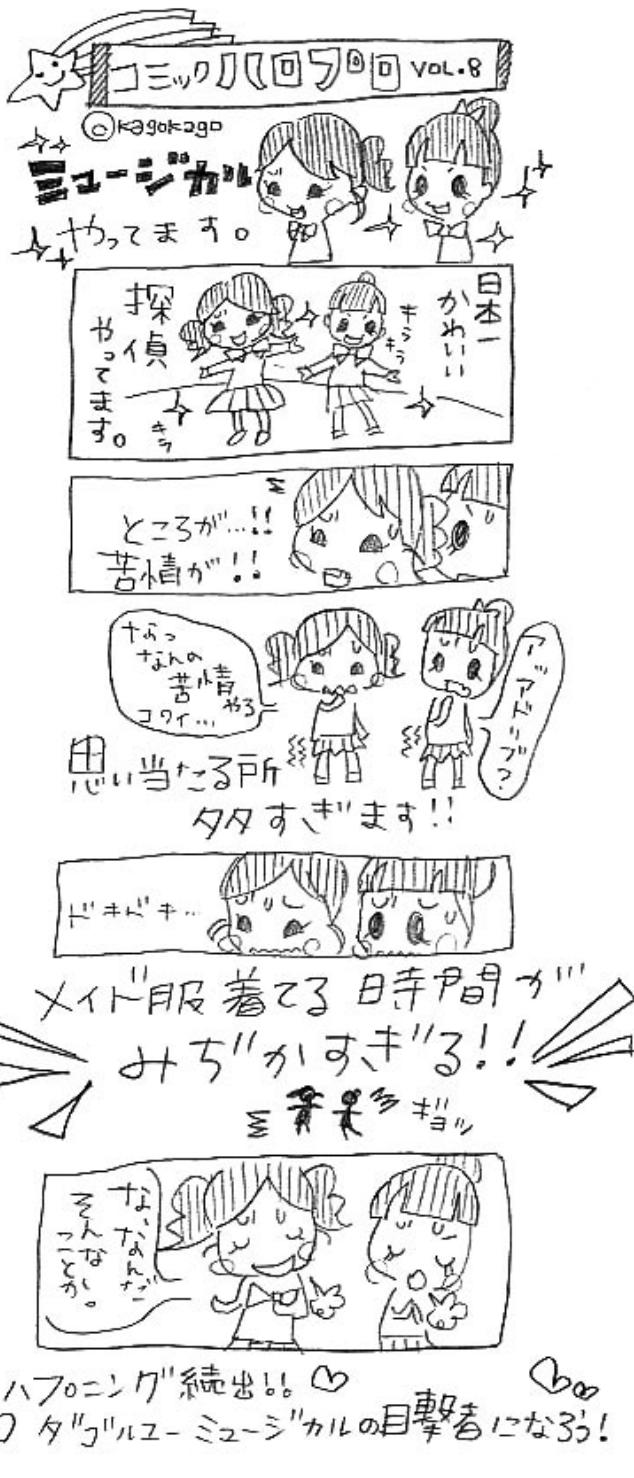
もちろん自分が無かつた事もショックだつたけれど、それ以上に隣を振り向いたときに涙目になりながら笑顔で居た彼女が何だか悲しかつた。そしてMちゃんは最後まで涙は流さず笑顔で居た。瞳の奥に涙をうかべながら…。

Mちゃんはもちろんルックスも可愛かつたし歌も上手かつた。でも私が何よりもこの子娘。が誰よりも好きなんだなと言う事が伝わつたから。本当に好きで憧れていてなりたいんだなと感じたから。

「オーディション」

それは受けた人の数だけSTORYがあり、合格した人にもSTORYがあるのと同じようく涙を流しあきらめていつたたくさんの女の子がいてその頂点がモーニング娘。であるからこそその一人一人には必ず意味がある。

また行なわれるオーディションでまた新たなSTORYが始まるのかもしれない…。



☆記事募集のご案内☆

現在、「TOYBOX」では記事を書いてくれる方を募集しています。参加条件は無し、どなたでも歓迎いたします。

今回も引き続き編集部でテーマを設定いたしました。5月にはいよいよ石川梨華さんがモーニング娘。を卒業いたします。そこで・・・

次号分のテーマは

・石川梨華さん娘。卒業！

です。もちろん従来どおり自分でテーマを設定して下さっても結構です。文字数は1ページあたり約1000文字で、何ページでもOKです。画像の数・サイズによって変動しますのであくまでも目安としてお考え下さい。

文章は「TOYBOX」サイト内“mai”ページのフォームから投稿してください。また、縦書き・横書きの希望がございましたら併せてフォームへ記入して下さい。編集の都合上やむを得ない場合を除き、出来る限りの対応をいたします。

それでは読者の皆様からの投稿をお待ちしています。

本来であれば3月中に公開したかったのですが、事情により延期しました。誠に申し訳ありませんでした。

次号は4月末の発行を予定しています。ゴールデンウィークが始まる頃には出したいと思っていますが、その1週間後には石川梨華さんの卒業公演が控えております。そこで石川梨華さんの卒業に関する記事を募集いたします。これから美勇伝としての活動に専念する梨華ちゃん。そんな彼女のことを記事にして下さい。皆様からの投稿をお待ちしております。

執筆者紹介

まゆ

石川梨華・藤本美貴・夏焼雅推し。別名DD(笑)

ゅっこ

藤本美貴推し。女性の視点からハロプロを分析。

flight

亀井絵里推し。『えりりんどっこむ』を運営中。今回の表紙デザインも担当

えり

ラッキー7オーディションに参加、モーニング娘。を夢見る中学生

カゴカゴ

加護亜依推し。『comicKAGO』を運営中。マンガ担当

ハイマン・ロス

辻希美推し。『ののすいーと』を運営中。デザイン担当